

ALFA ROMEO CHALLENGE・ABARTH CHALLENGE 2020 レギュレーション細則



0. アルファロメオチャレンジ・アバルトチャレンジ開催趣旨

- 0-1 アルファロメオ・Fiat(アバルト含む)製車種を用いて、アルファロメオ・Fiat(アバルト含む)愛好家が自ら車種を操縦し、競技に参加し、競争を楽しむアマチュアグラブマンのレースである。
- 0-2 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以降に製造された、比較的新しいアルファロメオのクラス、アバルトチャレンジでは比較的新しいFiat(アバルト含む)のクラスを称してモデルナクラスと呼ぶ。
- 0-3 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以前に製造された、比較的古いアルファロメオのクラス、アバルトチャレンジでは比較的古いFiat(アバルト含む)のクラスを称してヒストリッククラスと呼ぶ。

1. 参加資格とカテゴリ

- 1-1 **ドライバーの参加資格**
参加者は、普通運転免許証を持ち、少なくともサーキットフラッグの意味を理解しそれに従うことができること。また、競技規則を守るとともに他の競技者に敬意を払うことができる者であること。以上の条件を満たした上で、ARCAの会員であること。加えて、サーキット走行経験を有する必要がある。ただし、レース入門クラスのAR120は会員である必要はない。また、グリッドスタートを行わないAR100・AB100・ARL一般走行会、体験走行等は会員でなくとも参加できる。また、サーキット経験の有無を問わない。
- 1-2 アルファロメオ・Fiat(アバルト含む)車種であれば、年式・車種を問わず参加資格を有し、車種・仕様・改造程度等により、いずれかのクラスに車種資格を有するものとする。SR・AR100・ARLクラスに関しては、ヒストリック・モデルナ・車種・仕様・改造程度等に関係なくアルファロメオ車種、AB100・ARLクラスはFiat(アバルト含む)車種であれば参加できる。ただし、どのクラスも本規則に定める「4.車両安全規定」「5.車両改造規定」を満たさない車両は参加できない。
- 1-3 **ヒストリック・モデルナの参加車種**
ヒストリック・モデルナの参加車種は以下に示すとおりとする。
(1)ヒストリック:ヒストリックへの参加車種は、原則としてES30(含む)以前のアルファロメオ車種とし、以下に示す車種とする。 **モデルナに例示している以外のFiat(アバルト含む)車は、車種ごとに相談**
参加可能車種例示・TIPO750全車種/TIPO101全車種/TIPO105全車種(含モンリオール)/TIPO115全車種/TIPO116のうち4気筒エンジン搭載車全車種/スズク全車種/33全車種/GTV6/75全車種/SZ&RZ全車種(ES30)/またES30以前に製造された全車種
(2)モデルナ:モデルナへの参加車種は、原則としてアルファロメオES30(含む)以降の以下に示す車種のアルファロメオ車。また、以下に示す車種のFiat(アバルト含む)車とする。
参加可能車種例示・SZ&RZ(ES30)/164/155/146/145/GTV/SPYDER/156/147/GT/159/Brera/MiTo/Giulietta/以上全車種。その他以降製造の全車種
※8Cは事務局に相談の上、参加者の経験値等により、出場の可否・クラスを承認する。
7ハット含むFiat車(2000/07年〜2007/03年〜2007/03年〜2007/03年〜2007/03年〜)124スパイダー(16年〜) その他は車種ごとに相談
- 1-4 **ヒストリック・モデルナ参加車種に関する補足ならびに特例**
(1)「1-3」に例示した車種以外のアルファロメオ車種が参加を希望する場合は、当該車種の車種・仕様・改造程度などからいずれのクラスに該当するかを事務局が判断・決定するものとする。
(2)「1-3」ヒストリック・モデルナの参加車種に例示した車種であっても仕様・改造程度によっては特例として他クラスへの参加車種とすることがあり、その判断は事務局が行う。

2. 車両の区分

- 2-1 **希望クラス申請、事務局によりクラス分け**
下記のクラス分けが基準となるが、入会・更新時に希望クラスを申請。車両改造範囲、過去の実績により事務局がエントリークラスを決定する。車両規定にかかわらず、その人の経験・車両の状態により上位・下位と規定外れたクラスを希望することが可能。(排気量が異なる場合も含む) また、地区によっては下記以外に独自クラスの開催の場合がある。
- 2-2 **ヒストリック・モデルナ共通参加のクラス**
・SR(スーパーレーシング)・HSR・MRの上位に位置し、ヒストリック・モデルナに関わらず車両規定を満たすすべてのアルファロメオ・Fiat(アバルト含む)が参加可能。最速を競うクラス。車種により、SR/ESR2に分かれる。(SR2からSRへの移行は可能。) また、現状が否かに関わらずプロドライバーはこのクラスとする。
▲ SR / 基本的には3.2L以上全車種と156-3.0 ▲ SR2 / 3L以下全車種(ただし156-3.0は除く) ※147CUP-GTV-CUPならびにターボ車含む(155-GTV-Mito-Giulietta)
・AR100・AB100入門編として(特にサーキット初心者)が幅広く参加しやすいよう設置されたクラス。実績のあるドライバー等、趣旨に合わない場合参加不可。また3位以上入賞のドライバーは、次戦以降このクラスには参加出来ない。(参加5台以下の場合除く) 特に改造に関する規定は設けず、(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオ/AR100、ならびにFiat(アバルト含む)AB100で参加可能。
・ARL(レディース):女性専用クラス、女性が参加しやすいよう設置のクラス。特に改造に関する規定は設けず、(3.安全規定、4.車両安全規定)を満たすすべてのアルファロメオ/アバルト車で参加可能。
- 2-3 **ヒストリック車種のクラス**
・HTA200:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が2000cc以下のTA(トランスアクスル)車両。(アルファロメオ・GTV6・75・ES30等) HTA300:HTA200同様の内容で2001cc以上の車両。
・H130:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が1300cc以下のTA(トランスアクスル)構造で無い車両。 H160:H130同様の内容で、実排気量が1600cc以下の車両。
・H180:H160同様の内容で、実排気量が1800cc以下の車両。 H200:H180同様の内容で、実排気量が2000cc以下の車両。
・HR(ヒストリックレーシング):上記の車両規定を満足しないヒストリック車種または過給機付の車両。ただし往時を重視した改造の範囲内とする。
・HSR(ヒストリックスーパーレーシング):HRの範囲を超えた、車種・ドライバー、または、発売当時のオリジナルリティを重視しない改造を施した車両。
モデルナ車種のクラス
・AR120:レース入門クラス(AR100のレース版)、入賞者は次回参戦不可。(AR150へステップアップ/参加3台以下の場合除く) 車両規定は下記AR150・AB150適合車種。 ARCA入会不要(ポイント対象外)
・AR150:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するモデルナ/アルファロメオ車両。(車種により14クラスに細分化)
AR150クラス詳細 AR150-0=ジュリエッタ AR150-1=3.2L全車種 GLTI(150-1相当)=ジュリエッタ1.75 GLT2(150-2相当)=ジュリエッタ1.4 AR150-2=156V6.
GTV&Spider3.0.GTV2.0.TB.155Q4.166(2.5.3.0).ES30等 AR-MiTo(150-2相当)=MiTo等 AR150-3=156TJS AR150-4=145TJS.147TJS.155V6.GTV2.0 AR-GT(150-4相当)=GT※2※3
AR150-5=155T.146.SPIDER2.0 AR150-6=セレスピド・Q-system(3.2L除く).TCTも可 AR150-9=159.Brera&Spider(939系) ※3
※1 MiToはAR150-2も選択可能。 ※3 AR-GT-150-9において3.2L車で優勝した場合は後述のクラスアップを推奨。(参加台数が少ない場合は除く) ※ AB150設置に伴いAR150-8は一旦廃止。
GT.3はAR150-1も選択可能。 ※3 AR-GT-150-9において3.2L車で優勝した場合は後述のクラスアップを推奨。(参加台数が少ない場合は除く) ※ AB150設置に伴いAR150-8は一旦廃止。
・AB150:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するFiat(アバルト含む)車両。(車種により4クラスに細分化) 触媒は純正のみとし、個数の変更は不可とする。
AB150クラス詳細 AB150-0=オリジナルタービンを変更するアバルト AB124(150-0.5相当)=アバルト124 AB150-1=速い実績あるアバルト(124除く) AB150-2=アバルト500.グラデアント AB150-8=アバルトHGT等
<クラスアップ>AR150・AB150クラス内で車種が該当するクラスより数字の少ないクラスへの参加は原則自由。(AR150-3の車両でAR150-2出場。AR150-6の車両でAR150-3出場等。)
※ 150-9のJTSは150-4、3.2Lは150-1以上とする。 AR-GTの2.0は150-4、3.2Lは150-1以上とする。
※ 150-9-AR-GTに限り、シーズン途中でクラス変更の場合、それまでに獲得したポイント×0.8を変更したクラスへ移行可能とする。(端数は切り捨て)変更は本人からの申請があった場合のみ。
※ AB150からAR150クラスへの移行も可能とする。ただし、ALFA ROMEO CHALLENGEの賞状(盾)となる。
・AR200:車両規定を満足し、実排気量が2000cc以上3000cc以下のモデルナ車両。ただし、155とQ-system車種は2500ccまでこのクラスとする。
・AR250:車両規定を満足し、実排気量が2001cc以上3000cc以下のモデルナ車両。また過給機付車両はこのクラスとする。159.Brera&Spider等の2.2JTS車両もこのクラスとする。
・AR300:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が3001cc以上のモデルナ車両。
・AR200:AR150・AR200・AR300の車両規定を逸脱する、実排気量が2000cc以下のモデルナ車両。ただし155は2500cc以下の車両及び156N1。また3000cc以下のAT車両。
※ 暫定的に159JTS.2.2L.156V6-2.5LのMR200参加を可とする。 2020年度からMitoは不可。(MR300対象とする。)
・MR300:AR150・AR300の車両規定を逸脱する、実排気量2001cc以上モデルナ車両。及び過給機付車両。ただし155は2501cc以上。

3. 安全規定(共通)

- 3-1 難燃性の長袖長ズボンで、運転に支障のない服装を着用すること。JAFもしくはFIA公認のレーシングスーツの着用を強く推奨する。
- 3-2 フルフェイスもしくはジェットタイプのヘルメットの着用を義務付ける。SNELL規格もしくはJIS規格に適合するレース用ヘルメットの着用を強く推奨する。また、HANSデバイスの装着を強く推奨する。
- 3-3 オープンカーの場合はフルフェイスタイプを義務付ける。ドラIVINGに適合したシューズを着用すること。レーシングシューズの着用を強く推奨する。
- 3-4 レース用グローブの着用を義務付ける。指先の露出する物、手首の露出する物は不可。

4. 車両安全規定(共通)

- 4-1 ヘルメット、テールランプ、ブレーキランプ、ウイカーなどすべてのランプ類は正常に点灯し機能すること。ガラス、プラスチック部分すべてをテープ(出来るだけ透明)で飛散防止処理を施すこと。
- 4-2 安全ベルトはモデルナAR・AB各クラス以外では4点以上のフルハーネスを義務付ける。ただし4点の3ポイントは可。モデルナAR・AB各クラスは4点以上のフルハーネス推奨。
- 4-3 バッテリーおよび配線は確実に固定されていなければならない。その場合グロメット、コネクタ、クランプ等で固定された安全性の高いものでなければならない。
- 4-4 フロント/バック選元装置を外取外し可能な車両に取外しはオイルをエアーに流出することを防ぐ確実なブローノールオイルキッチタンク装着を義務付けるものとする。取付も確実にボデーに固定されていなければならない。
- 4-5 排気管は後方もしくは側方に向け、燃料系統に対し十分な防護処置を講じなければならない。
- 4-6 ヒストリック各クラス・SRクラス・MRクラスは、ロールオーバー、ロールバーの装着を強く推奨する。レース各クラス参加のオープンカーはサーキット走行に際して有効なロールオーバー、ロールバーの装着を義務付ける。(4C・124は、純正ロールオーバー状態可。その他ARクラスは純正品で可の燃料あり)また装着に際しては6点式以上を強く推奨する。ただし、グリッドスタートを行わないAR100・走行会等はロールオーバー、ロールバーの装着を強く推奨する。
- 4-7 カットオフスイッチの装着を強く推奨する。安全燃料タンクの装着が望ましい。
- 4-8 フロントウインドシールドは合わせガラスが望ましい。
- 4-9 走行時は牽引フックの装着を義務付ける。取り付け方法も確実にフレーム等に固定されていなければならない。前後装着を強く推奨する。

5. 参加車両の改造範囲(特に記載の無い場合は全てのクラスを対象とする)

- 5-1 エンジンブロックの交換はヒストリック/モデルナ各々、出場するクラスに出場可能な車種に搭載されていたブロックの範囲内で交換する場合のみ異なる排気量でも可。
- 5-2 気筒数の変更、ピストンリング、ピストン、コンロッドは交換可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとし、排気量の変更となる場合は当該クラスに変更すること。
- 5-3 シリンダーヘッド交換は、そのクラスに出場可能な車種に搭載されていたヘッドの範囲内のみ交換可。ポート研磨、ヘッド面研磨などヘッド加工は可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
- 5-4 カムシャフト、バルブ、バルブスプリングは自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
- 5-5 フライホイールは変更、加工も自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
- 5-6 潤滑系統はHSR・HR・SRのみラジアルサイプ自由。ただし潤滑系統の接続は確実なものとし、ホースバンドは不可。
- 5-7 オイルクーラーの追加は可。その場合取り付け位置が車体内に取り、ホース・フィッティングが外れる事のないように固定すること。
- 5-8 冷却系統の変更は自由。この場合も車体内に取り、確実に固定すること。
- 5-9 吸気装置はキャブレターからインジェクションへの変更は不可。インジェクションからキャブレターへの変更は可。
4-4規定によりダイレクト吸気装置の場合ブローノールガスの大気開放は禁止。この場合オイルキッチタンクの装着を義務付ける。セパレーターなどの簡易装置は禁止。
- 5-10 排気系統の交換は自由。ただし有効な消音装置の装着を義務付ける。 AB150クラスは、触媒装置の変更・個数の変更も不可。純正状態のままに限る。(AB150-0除く)
- 5-11 点火プラグ交換は自由。点火装置の変更追加は自由。
- 5-12 モデルナは、ターボ車のタービン交換はSRのみ可。ただしAR-MiToクラスで純正タービンがグレードに関係なく装着可能とする。(TCTにQVタービン等) SR以外は、ジュリエッタ・ミト・アバルトのフルコン使用不可。(SR2不可) AB150-0以外のAB150クラスは、FIAT社が新車販売時にそのモデルに装着していたオリジナルタービン以外への換装不可。
- 5-13 クラッチは交換自由。
- 5-14 ギヤボックスはオリジナルのケースを使用すること。モデルナでは、ギヤ比の変更はSR・MRクラスのみ可とする。(AR・ABクラスでは不可)
- 5-15 最終減速装置は生産時にアルファロメオ・Fiat一般市販車に搭載されているデフケースを使用すること。この場合差動装置を追加することは可。モデルナでは、SR・MRのみファイナル変更可とする。
- 5-16 ホイル、スパーサーは自由。ただしホイルのリム幅及びオフセット値の変更は取外し状態でフェンダー内に収まるサイズまでとする。
- 5-17 タイヤは一般市販タイヤであること。レーシングタイヤ(スリック、カットスリック、オールウェザー、レーシングレインなど)は禁止。フェンダー内に収まるサイズまでとする。
- 5-18 ショックアブソーバーの変更は可。スプリングの変更は可。
- 5-19 サスペンションアームに関しH130・H160・H180・H200は形式の変更、改造は不可。その他のクラスは寸法形状ともに自由。
- 5-20 スタビライザーの追加変更は可。この場合スタビライザーエンド部のピロボール化も可。
- 5-21 ブレーキローターに関し、寸法形状ともに自由。
- 5-22 ブレーキパッド(シュー)は交換自由。倍力装置は取り外し変更可。
- 5-23 ブレーキキャリパーの変更はヒストリックは、4ポットキャリパーの範囲内で交換可。モデルナは自由。
- 5-24 ステアリングホイールは交換可。
- 5-25 ベダル類は交換可。
- 5-26 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアーム取り付け支点の位置変更は不可。
- 5-27 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアームの取り付け不可。アルファ伝統のいわゆるCRBBシステムは許される。

6. 車体形状および改造範囲

- 6-1 ウィンダ、スポイラー、オーバーフェンダー等の取り付けは、H130・H160・H180・H200クラスは認めない。HRクラスでは当時の形状と同一のオーバーフェンダーのみ認められ、取付はリベットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。HSR及びモデルナでは車体寸法内に収まる物に限りは認められ、取付はリベットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。
- 6-2 開口部は形状の変更ならぬ樹脂または軽金属製への交換可。ヒストリックはボンネットのエアダクトの追加禁止。モデルナは可。すべて走行中に開かないようまたはリットなどで確実に固定すること。
- 6-3 パンパー、パンパーステはヒストリックは認められ、モデルナは認めない。ただし軽量樹脂製などのパンパーに交換可。この場合インボースメント、取付ステーは純正を使用すること。
- 6-4 座席は取り外し、交換ともに自由。運転席の固定は必ずボルトナットで確実に固定すること。ただし、AR150・AB150クラスは取り外し不可。
- 6-5 窓ガラスは、フロントウインドを除く他の窓ガラスを透明な他の材質に変更することは可。ただし、AR150・AB150・AR200・AR300クラスは不可。
- 6-6 ダッシュボードの変更、交換は認められるが、取り外しは不可。
- 6-7 バッテリーの変更、搭載位置変更は可。ただし、車室内に位置変更する場合は有効な仕切り隔壁により車室と隔離しなければならない。
- 6-8 ヒストリック車種の最低重量はH130/800kg(750-101は720kg)、H160/810kg(750-101は730kg)、H180/830kg(750-101は750kg)、H200/850kg(750-101は770kg)とする。これ満たさない場合はHR・HSRクラスとする。(HTA200・300は除く)